

別記第1号様式(第7関係)

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第1回 豊島区観光振興プラン策定委員会
事務局(担当課)		文化観光課
開催日時		令和4年 12月 2日(金) 11時～12時30分
開催場所		区役所本庁舎5階 庁議室
議 題		1.開会 2.委員紹介 3.会長・副会長の選出、諮問について 4.区長挨拶 5.委員会の運営について 6.豊島区の観光施策の現状について 7.今後の審議スケジュール(案)について 8.その他
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 1人
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
出席者	委 員	羽生冬佳委員、近江正典委員、伊藤茂夫委員、東谷彰子委員、 官沢のぞみ委員、塩野泰委員、三橋和也委員、田邊紘子委員、 秋元志保委員、近藤健二委員、平松恵一郎委員、小池章一委員 <div style="text-align: right;">計 12名</div> 欠席(2名): 小寺徹委員、千野富久委員
	事 務 局	文化観光課長、マンガアニメ活用担当課長、文化観光課職員7名

## 1 開会

文化観光課長：これより、第一回豊島区観光振興プラン策定委員会を開催します。第一回目の会議のため、会長選出までは私の方で進行させていただきます。本会議の議事録を作成するため、会議内容を録音させていただきます。委員構成は、資料2のように14名となっておりますが、2名は所用のためご欠席となっております。委嘱状は時間の都合上、机上に配布させていただきます。

## 2 委員紹介

文化観光課長：お名前とご所属を申し上げますので、ご着席のままお返事をお願いします。

## 3 会長・副会長の選出、諮問について

文化観光課長：豊島区観光振興プラン策定委員会設置要綱第5条に基づき、委員の互選により会長の選任をお願いします。

(会長選任、了承)

会長：会長を務めます。よろしく申し上げます。前回のプラン改定時の状況は、オリンピックパラリンピックを控えるなど、上向き加減の強い時期でありましたが、みなさまご承知のとおり、このようなコロナ禍となってしまいました。現プラン19ページにある豊島区の課題につきまして、当時の課題としてどのようなものがあるか議論をしておりました。改善したところもあれば、引き続き考えていかなければならないところもあるかと思えます。また、この激変の数年間を経て、新しく噴出した課題や、変わってしまった状況もあるかと思えますので、皆様のご協力をいただきながら、豊島区をこれからどう盛り立てて行くか、これから先の豊島区を良いものにするために、計画を一緒に作っていきたいと思います。

### ・副会長の選任

文化観光課長：副会長の選任について、要綱第5条に基づき、会長が指名することになっております。副会長の指名からお願いします。

(副会長の指名、了承)

### ・諮問

(区長から会長へ諮問書を渡す)

#### 4 区長挨拶

豊島区長：会長、副会長も決まり、いよいよ本題の策定に入りますが、まずはお忙しい中ご出席賜り、感謝申し上げます。豊島区の観光振興プランは5年ぶりの改定となります。この間コロナ禍で、3年あまり観光関連の活動ができない状況でありました。人流も経済も滞り、大変な状況ではありましたが、ようやく少しずつ改善の兆しが見え、インバウンドも復活してきております。豊島区は、文化を基軸としたまちづくりを、20数年にわたり進めてきました。ところが、8年前に23区唯一の「消滅可能性都市」と全国に発信され、大変なショックを受けました。しかし、なんとかしなければと奮起し、まさに文化でまちを元気にし、大きく変えるため、「国際アート・カルチャー都市構想」を掲げ、とにかく一生懸命取り組んできました。その結果、まちは大きく変わり、最近の新聞の記事をご参考までご紹介しますが、文化による経済の好循環として、豊島区は大きな評価をいただくまでになりました。また、今年には区制施行90周年であります。池袋駅周辺の4つの公園、Hareza池袋に8つの劇場空間をつくるなど、国際アート・カルチャー都市としてのまちづくりを目指してきましたが、まさにそれが形になってきました。イケ・サンパークは、単なる防災公園ではなく、日頃から賑わいを創出する公園となるように工夫しました。まちの賑わいをつくるのが、消滅可能性都市からの脱却だと考えております。友好都市も延べで140都市ほどあり、近年熱心なアプローチも増えまして、昨年7月沖縄県伊江村、今年3月には長野県長野市、7月に北海道中富良野町とそれぞれ交流の協定締結をいたしました。短期間で魅力的にまちが変わった豊島区について、視察の申し込みも多くいただいております。新たな観光振興プランの策定にあたり、ご就任いただいた会長、副会長に委員会を牽引いただき、さらに本日もご出席のみなさまのお力をお借りしたいと思います。よろしく願いいたします。

(区長別公務の為退席)

文化観光課長：ここからは進行を会長にお願いします。

#### 5 委員会の運営について

会長：会議及び会議録の公開についてお諮りしたいと思います。区民のみなさまに知っていただくために、区では審議会等の会議を原則公開としており、これまでの会議及び会議録も公開してきました。当委員会につきましても公開したいと考えますが、よろしいでしょうか。

(一同了承)

会長：それでは、会議及び会議録を公開したいと思います。なお、個人が特定されないように事務局には配慮をお願いします。

つづきまして、傍聴についてです。希望者は当日、会場で申し込みいただき、傍聴者は傍聴のみで発言できないということで、よろしいでしょうか。

(一同了承)

会長：本日は傍聴希望者はいらっしゃいますか？

事務局：1名いらっしゃいます。

会長：それでは、1名お入りください。会議の運営については以上になります。

## 6 豊島区の観光施策の現状について

会長：豊島区の観光施策の取り組み状況や委員と共有したい情報について、事務局より説明していただきます。

事務局：現在の豊島区の観光施策の状況等についてご説明させていただきます。

まずは資料3-1をご覧ください。こちらは豊島区基本計画の観光に関わる部分を抜粋したものになります。コロナ禍やデジタル技術の進歩、SDGsの推進など、社会情勢の大きな変化を捉え、令和3年度に、令和4～7年にかかる基本計画の見直しを行いました。基本計画の施策7-2-1についてご説明します。令和元年、2年を中心に、ハレザ池袋やGLOBAL RING、トキワ荘マンガミュージアムなど文化観光コンテンツがぞくぞくと整備されました。そこで、体験型のニューツーリズムやイケバスと連携した観光ルートの開発などを進めていきたいと考えています。文化観光課では、イケバスアトカルツアーということで、イケバスの貸し切り事業を使って、池袋の東西を回る事業を土日中心に運行しており、地域の魅力を深掘りしていくようなツアーを実施しています。また、魅力的なコンテンツの発掘と活用につきましては、より日常生活に密着したまちの魅力の発掘について、地域のライター、ジモトシマライターを中心として発信、紹介しています。

続きまして、施策7-2-2についてご説明します。

現在は、情報発信の手段が非常に多様化しています。区ホームページに、「IKE CIRCLE イケサークル」という文化観光情報をまとめて発信するサイトを設けたり、公式SNSなどで対象者の興味関心に刺さるような情報発信を心掛けています。区内回遊性促進については、イケバスを使った観光スポット巡りや、コロナが落ち着いた暁には、ナイトタイムエコノミーの方にも力を入れていきたいと考えています。

施策7-2-3 交流都市との共生の推進についてご説明します。

現在は144の都市との交流があります。お互いがメリットを享受できるよう、例えばイケ・サンパーク内で開催しているファーマーズマーケットでは、交流都市の製品を紹介していますが、より良いつながりが保たれるようにしていきたいと考えています。

施策7-2-4 多様な来街者の受け入れ環境の整備についてご説明します。

前回改定時には、オリンピックパラリンピックに向けてwi-fiや観光案内標識の多言語表記などの整備を進めてきました。これからは、ソフト面での充実についても課題になると考えます。豊島区観光協会様での外国語ボランティアガイド事業については、非常に有能な方もガイドとしてご登録いただいているようですので、おもてなしの実践の場を提供できるように、引き続き連携を図りたいと考えています。

資料3-2についてご説明します。

こちらは、未来戦略推進プランより抜粋した資料ですが、池袋の都市再生や、今後の大きな方針について定めています。ウォークブルなまちづくりということで、ターミナル駅周辺だけではなく、4つの公園を核としてエリア全体で回遊性を促進するような、そういったまちづくりを進めていく予定です。池袋駅でお買い物をして終わるのではなく、広くまちに出て行っていただけるようなまちづくりを長期的に進めていきます。

資料3-3についてご説明します。

こちらにも、未来戦略推進プランより抜粋した資料になります。文化を基軸にしたまちづくりとして、マンガアニメ文化を活用した様々な事業を展開しております。また、クラシック音楽によるまちづくりとして、令和元年にリニューアルした池袋西口公園野外劇場GLOBALRINGでは、原則毎週水曜日の夜に、「Tokyo Music Evening Yube」として、一流のアーティストによるコンサートを無料でご観覧いただける事業を実施しています。徐々に定着してきているなど実感があり、観覧されたお客様からも好評をいただいています。クラシック音楽によるまちづくりを更に区内全体に広げていくために、「街なかクラシックプロジェクト」を展開しております。美術作家 植田志保様に装飾していただいた「一あおのふるまい」というピアノを、JR大塚駅に限定的に設置しイベントを実践したことがありましたが、大変好評をいただきました。つい最近では、先月、東京メトロ有楽町線要町駅に白いグランドピアノを常設で置かせていただきましたが、こちらも非常に好評で、メディアからお問い合わせをいただくなどしています。

また、今年が区制施行90周年ということで、それを記念して郷土資料館では「大博覧会」という特別展示をしています。見ごたえのある展示内容となっておりますので、是非ご覧いただければと思います。先月、11月3日には、南長崎のトキワ荘通りに、味楽百貨店を活用した「トキワ荘通り 昭和レトロ館」もオープンしました。こちらも併せてご覧いただければと思います。

次に、イケ・サンパークで土日を中心に開催している「ファーマーズマーケット」についてご説明します。イケ・サンパークは、サンシャインシティ様の裏手にオープンした公園ですが、当事業には多くの交流都市に参加していただいております。交流都市からの新鮮な野菜果物等の商品を展示販売しています。交流都市にとっても、自分たちのおすすめ商品や情報をPRするととても良い機会になっているかと思っております。相互に利益を享受できる機会をどんどん増やしていければよいと考えています。

資料3-4につきまして、当資料は、文化観光課で実施している事業を簡単に紹介した内容となっております。写真も添えてございますので、お目通しいただけましたらと存じます。

資料4についてご説明します。こちらは、既存の観光振興プランの施策体系に基づいて、庁内での取り組みの進捗管理を調査したものとなっております。具体的に事業で進められているものと、予算の有無に関わらず、何らかの形で実施しているものを含め記載してあります。この中で、特に民間事業者様中心の取り組みについて紹介させていただきます。当資

料2ページにある、「テーマ別観光アニメツーリズムの推進について」をご覧ください。社団法人アニメツーリズム協会様が「訪れてみたいアニメ聖地88」というのを選定しております。豊島区内でもいくつか選ばれております。また、公民連携による情報発信の検討というところでは、特に予算をかけずに大学と連携して行っている事業がございます。例えば、帝京平成大学様は、「ジャパン ベトナムフェスティバル」に学生を派遣して、豊島区の魅力を大学生にプレゼンしていただくような機会をつくっていただいています。また、12月6日(土)には、豊島区と立教大学様とのコラボによる「地域課題提言ワークショップ2022」を実施予定です。こちらは、立教大学の学生に、豊島区の認知度を高め、誘客促進するための情報発信方法について、具体策を検討することを年度内にかけて実施していく取り組みです。

国内外への観光情報の発信については、日本ホテル様を中心として、「インバウンド推進協力会」という会議体を結成し、インバウンド向けの事業展開をしておりました。コロナ禍で活動が止まっておりましたが、最近久しぶりに対面での会議を実施し、活動が再開されました。また、ようやく渡航制限解除となり、コロナ前のように外国から来日できる状況となりましたので、そごう西武様、サンシャインシティ様、豊島区の3社で共同しまして、豊島区の魅力を台湾メディアで紹介するような、台湾での訪日プロモーションを実施しております。

次に、ユニバーサルツーリズムの推進について、バリアフリー旅行の情報提供体制の構築がございます。全国自治体で初めての導入となる、視覚障がい者移動支援アプリ「シカイ」によるナビゲーションシステムの運用を開始しております。駅ホームにある黄色い点字ブロックにQRコードが表示されており、それによって音声ガイドが発動する仕組みです。

次に、オーバーツーリズムの取り組みについてご紹介します。雑司が谷地区には、観光目的の来街者が多く見えるのですが、静かに生活をしている住民の生活道路にまで誤って入ってきてしまうことが問題でありました。そこで、雑司が谷未来遺産推進協議会を中心とした地域主導の取り組みで、観光客を誘導する案内ルートを決めて、それを案内するようなサイン設置を検討することを進めています。

また、オールとしまで観光を盛り上げる、ということでは、オールとしまによるまちの美化運動の推進がございます。「クリーンアップ大塚」という取り組みでは、住民・地元企業・学生などが参加され、大塚駅周辺の清掃活動をされております。

区内の人材活用の促進というところでは、先ほどご紹介しましたが、地元のことをよくご存じのインフルエンサーである「ジモトシマライター」を有効に活用して、地域の小さな情報でも原石となるようなものには光を当てていきたいと考えております。

最後に、資料5についてご説明します。こちらは、令和3年度に豊島区観光協会が、東京観光財団による事業に手を挙げて実施した、「マーケティングを活用した事業計画策定支援事業」の成果物の概要版となります。区内事業者や住民へのヒアリングやアンケート、Webモニタリング調査、ワークショップなどを実施し、いろいろな結果を導き出しております。

こちらの成果物の本編は、年内には印刷をして委員の皆様へ送付させていただきますので、お目通しただけでしたらと思います。事務局からは以上となります。

会長：ご説明ありがとうございました。かなりボリュームのある内容であったと思います。資料は後ほど、じっくり読み込んでいただきたく存じます。委員のみなさまには、ただいまご説明のあった観光施策の現状についてのご意見、あるいは、観光振興プランの改定に関するご発言をお願いいたします。

委員：当プランも区も、まだまだ発展途上であると考えています。これまで整えてきたインフラをこれから活用していこうというときに、コロナ禍となつてしまい、諸々止まってしまったという状況かと思えます。外国語ボランティアガイドも、有能な方にご登録いただいていたのですが、この3年間で体制がかなり崩れてしまいました。そのため、当プランでは、コロナからの再出発ということを考えていく必要があります。また、コロナ禍で人々の考え方が変わってきていることを感じます。例えばこれまでは、イベントを実施するとすると、イベントを開催することへの責任や対策について、主催者へかなりのプレッシャーがかかってくるのが常でありました。しかし、最近では、参加側にも一定の責任があるのだというお考えのもとご参加いただく方が増えたかと感じております。コロナの受け止め方が、また少し変わってきたのかなという印象があります。コロナ前提で考えていかなければならない、新しい課題なのではないかと考えます。

会長：ありがとうございます。次の方、お願いします。

委員：海外からのお客様をお迎えする、という点が、宿泊業にとっては大きな鍵となります。いよいよインバウンドが戻って来ますが、地域でお客様を呼ぶものと考えております。副都心の中で、東アジアのお客様には、新宿と池袋をよく比較されます。新宿は前々から海外でも知名度が非常に高く、池袋をなんとか知っていただくようアピールしていかなくては、とのことから10年ほど前に、各企業様へお声かけさせていただき、インバウンド推進協力会を立ち上げました。どうやったら海外のお客様に受け入れていただけるのか、お知恵をいただきながら進めてきました。コロナ禍で諸々止まっておりましたが、この数年間で豊島区はアピールできるポイントが増えております。微力ながらお手伝いさせていただければと思います。

会長：ありがとうございます。次の方、お願いします。

委員：東京を中心に日本の魅力を海外へ発信していく事業を手掛けております。コロナ禍で遠方からの観光客が減っていく中で、先ほどの施策のご紹介の中にありましたように、近年は住民や近隣を対象に発信、取組をされてきたと思います。インバウンドやオーバーツーリズムに関する取り組みのお話もありましたが、これからは住民と観光客の両者に喜んでもらうためにどうしたらよいか考えていく必要があるかと考えます。その部分において寄与していきたいと考えています。

会長：ありがとうございます。次の方、お願いします。

委員：インバウンド業務、訪日外国人にご満足いただけるよう考えることを、業務の一つ

としております。先ほどの区の取組み紹介を伺い、豊島区には多様なコンテンツがあることを改めて認識したとともに、まだまだ認知いただける余地があると感じました。是非、皆様方との連携を通じて、地域の活性化に寄与したいと思います。また、持続可能な観光という点について、大切にしていきたいと考えております。一度来ていただいてそれきり、というのではなくて、良い体験をした人が情報発信をし、それを受けた他の方が来てくださり、また発信するというループ。その情報発信は公式アカウントや事業者からの発信よりも効果が高いこともありますので、そういったループづくりをしていきたいと考えています。また、そのためには、受け入れ環境について地域住民との体制づくりやマインドづくりが必要になってくると思います。そのような部分も含め、一緒につくりあげていきたいと思っております。

会長：ありがとうございます。次の方、お願いします。

委員：ショッピングセンター業務に携わっておりますが、コロナ禍を経て、お客様の買い物の在り方が変わったことを実感しております。インターネットショッピングは以前からございましたが、わざわざお店に行きに行くのではなく、といった動機の部分も含め、価値観や求めているものがこの数年間で変わったと感じています。我々だけではなく、各企業様や行政等観光機関と一緒に、新たな価値の創出はどういったことであろうと考え始めたところでもあります。そのあたりを、この会議で共有できればと考えております。私事で恐縮ですが、趣味で全国いろいろ回っているのですが、その中には豊島区の友好都市もあり、訪れた際は、そのまちがどのようなことを取り組んでいるのか、力を入れているのか等々見るようにしています。豊島区外の都市の取組みなどもこの場で共有できたらと考えています。

会長：ありがとうございます。次の方、お願いします。

委員：私は、池袋生まれ池袋育ちであり、ずっと住んでいると気づきにくいのですが、皆様からのお話を伺って、豊島区は目覚ましく発展していることに気付かされました。一方で、昔ながらの懐かしい部分も存在しており、コンテンツはたくさんあるのだなと感じました。プランの改定に、お役に立てればと思います。

会長：ありがとうございます。次の方、お願いします。

委員：文化イベントを基軸にしてまちづくりを推進しており、区内施設の管理運営にも携わっております。豊島区は、様々な時代のものを持ち合わせており、とても魅力的であると思っています。皆様のお力をいただきながら、住民のみなさまと一緒に、その魅力を発信していきたいと考えております。豊島区民センターにも観光案内所がありますが、出来上がった当初はインバウンドが盛んでありましたが、その後はコロナ禍となり、利用者の数も減ってしまいました。ようやくインバウンド復活の兆しが見えてきましたので、みなさまと情報共有しながら、どうやったらより広く発信できるのか、検討して参りたいと思っております。

会長：ありがとうございます。次の方、お願いします。

委員：豊島区生まれ豊島区育ちでありますので、長く住むものとしての感覚を活かして、当委員会に参加していきたいと考えております。8年前に豊島区が消滅可能性都市に指定されたときはとてもショックでした。今回、当委員会に参加するにあたり、観光振興プランを初めて拝見しましたが、このようにいろいろ考えられた施策が展開されているのだなと驚くと同時に、区民に知られていないのではないかと残念に感じました。豊島区はこの数年で大きく変わったと思います。インフラを整備することは有効であったと思いますし、駅周辺や公園が整うなど、まちがキレイになり住みやすくなりました。その一方で、区民の意識が追い付いていないのではないかと感じています。まちを変えるのは人であると考えておりますので、区民の心を動かすような施策を考えていかなければならないと思います。多様性溢れる豊島区を多くの方に知ってもらい、訪れてもらいたいので、そのお手伝いできれば幸いです。

会長：ありがとうございます。次の方、お願いします。

委員：旅行が大好きであり、旅の体験や楽しさを知ってもらいたい、旅行好きと区民という立場から、当委員会に協力したいと考えました。皆様のお話を聞いて、豊島区には様々なイベントやプランがこんなにたくさんあるのだと驚きました。先ほどのご説明の中で、資料5にある宿泊場所に留まり…という課題について、地元住民との関わりや交流・体験、友好都市との関わりなど、人中心の関りについて注視したらどうだろうかと考えました。住民、旅行者ともに心地よいまちということで、SDGs と観光とを絡めて、観光と環境ともに好転するまちづくりができればと思います。

会長：ありがとうございます。次の方、お願いします。

委員：区内に住んでおりますが、池袋を中心にどんどんまちが発展し、魅力的に生まれ変わっていると肌で感じております。今回、当委員会の公募にあたり考えたことは、豊島区全体を一つのテーマパークとしてとらえ、魅力的なコンテンツがたくさんあるので、それらをイケバスで回遊する、ということです。既にイケバスアトカルツアーが予約制で運行されていますが、もっとレギュラー化するなどして、回遊ができれば面白いのかなと思いました。また、インバウンドも大事ですが、近隣地域や国内からの来訪もあるように、考えていければと思います。

会長：ありがとうございます。次の方、お願いします。

委員：豊島区では、文化によるまちづくりに力を入れて参りました。東アジア文化都市事業につきましては、中国・韓国・日本のそれぞれ1都市を代表として選び、文化事業による交流を深めようという、文化庁が進めている事業になります。そこに豊島区が手を挙げて、2019年に日本代表都市として参加しました。2019年までは交流できていましたが、翌年からコロナ禍となり、交流にも制限がかかってしまいました。当事業の開催に合わせて、23のハード面でのプロジェクトとして、区民センターや西口公園 GLOBAL RING、芸術文化劇場ブリリアホールなど、区長がかなり力を入れハードのコンテンツの集中投資を行い、一気にハード面の整備を進めてきました。そして、オリンピックパラリンピック

を控え、これからという矢先にコロナ禍となり、3年ほど事業が停滞している状況でございます。みなさまからのお話にもあったとおり、豊島区の認知度はまだまだと思っております。行政だけではなかなか力及ばずのところがございますので、民間、区民のみなさまと一緒に協力しながら、実際の取組みも進めていきたいと考えております。その取組みを、今回の改定の計画の中に、目指すべき方向性・ビジョンを明確に書き記したいと考えています。前回の計画につきましては、素晴らしい計画となっておりますが、やや総花的な内容となっているかと思えます。コロナで生活様式も変わっている部分もありますので、そのようなところも含めて、実態に則したより実のある計画を皆様のご協力を得ながら作って参りたいと思えます。

会長：ありがとうございました。時間の都合上、おひとり当たりの発言のお時間は短いものでしたが、今後の策定に向けていくつかヒントになるようなキーワードがあったなと感じました。いくつか挙げてみますと、例えば、住民との共同ですとか、コンテンツはあるが認知度がいまひとつだという点は、多くの委員にご指摘いただきました。また、周遊されていないという点については、人を中心とした、住民との交わりをもう少し想定するべきではないか、ですとか、SDGsをもう少し意識したものがあるとよいのではないかと、というご意見がありました。何より、地域でお客様を呼ぶ体制づくりが必要だ、という点について、多くご指摘いただいたかと思えます。こういった議論を積み重ねながら、このメンバーで意見を共有しながら、今後の豊島区の観光を中心としたまちづくりや目指すべき方向性を、当プランに反映し作り上げていきたいと思えます。

## 7 今後のスケジュールについて

会長：今後の予定について、事務局よりご説明をお願いします。

事務局：第2回目の委員会につきましては、来年2月中旬を予定しております。具体的な日程につきましては、委員のみなさまのご都合を最後にお伺いします。また、豊島区の観光振興は、何よりも民間事業者のみなさまの地道な活動があつてこそと考えておりますので、委員のみなさまに現状やご提案などを、第2回の委員会で3～5分程度でご報告いただければと思います。共有できる資料等ございましたら、会議の3日前までに事前にお送りいただきたくをお願いします。次期改定にあたり、来街者の動向分析から豊島区の特徴を把握することによって、導かれる内容をまとめていければと考えております。第3回目の委員会は、6月中旬を予定しております。区の現状分析の状況をご説明させていただき、改定の柱立ての案をお出しできればと考えています。第4回目は9月中旬を予定しております。こちらでも引き続き、現状分析のご説明をさせていただき、柱立てをより膨らました形での改定素案をご提案できればと考えております。第5回目は11月中旬を予定しており、こちらについても改定素案の議論と、パブリックコメントの実施についてお諮りさせていただきたいと考えております。令和6年1月に、パブリックコメントを1か月ほど実施しまして、最後、第6回目の委員会を令和6年の2月中旬に予定しております。パブリックコ

メント実施結果をご報告させていただきまして、改定案について審議していただければと考えております。今後の審議スケジュールについては以上になります。

会長：ありがとうございました。

## 8 その他

会長：次第8のその他ということで、何かご意見などあればお願いします。

(なし)

会長：今回は2月の中旬ということで、年度末でお忙しいかと存じますが、かなり短期集中での計画づくりとなりますので、委員の皆様には是非積極的にお知恵をお出しいただき、中身を詰めていければと思います。では、お時間になりましたので、本日はこれで閉会とさせていただきます。みなさまどうもありがとうございました。

<p>提出された資料等</p>	<p>資料1 豊島区観光振興プラン策定委員会設置要綱  資料2 豊島区観光振興プラン策定委員会 委員名簿  資料3-1 豊島区基本計画 2022-2025 政策7-2 (抄)  資料3-2 豊島区未来戦略推進プラン 2022 (将来像編) ウォーカーカブルなまちづくり (抄)  資料3-3 豊島区未来戦略プラン 2022(将来像編)文化を基軸としたまちづくり (抄)  資料3-4 令和4年度 文化観光課 実施事業のご紹介  資料4 豊島区観光振興プラン庁内進捗状況調査結果  資料5 令和3年度マーケティングを活用した事業計画策定支援事業「豊島区の消費促進に向けた観光資源発掘による回遊性向上のための調査と事業計画策定事業」業務委託《事業実施報告書概要版》  資料6 令和4～5年度審議スケジュール (案)</p>
-----------------	---